

平成30年度、同28年度及び同26年度自転車安全整備技能検定 学科試験における出題ミスについて

平成30年度、同28年度及び同26年度自転車安全整備技能検定学科試験におきまして、計6問の出題ミスが判明いたしました。その内容と対応については、次のとおりです。

受験された皆様を始め、関係する皆様に深くお詫び申し上げます。

1 内容

すべて反射器材の色を問う問題です。反射器材の色は「橙色又は赤色」とされているところ、当協会が作成し、受験者に頒布している自転車安全整備制度関係規程集において、誤って「赤色」と記載しており、誤解を与えていたことから、出題として不適切であったものです。

2 合否判定の再実施

各問題について、受験者に不利益を与えることのないよう、全員正解として取り扱い、それぞれの年度に遡って再度合否の判定を行いました。

3 誤って不合格とされていた方への対応

合否判定の再実施の結果、不合格が誤りであり、合格していたと判明した計23人の方々に対しては、それぞれの年度における学科試験合格とするとともに、連絡の取れた21人の方々には謝罪いたしました。また、本来受ける必要のなかった翌年度の試験の費用等を補償します。

4 連絡が取れない方へのお願い

誤って不合格とされていた方で、連絡が取れない方が2人おられます。

平成26年度の検定を受験された方で、受験番号が、試験地宮城県の106番及び試験地大阪府の206番の方です。

該当する可能性がある方は、当協会にご連絡をいただくようお願いいたします。